

買い物で高齢者の健康守れ



買い物を預けて歩ける専用のカートを押し、スタッフとともに
買い物を楽しむ利用者=京都市伏見区・近商ストア向島店

体操合わせ認知症予防期待

事業者の安心ライフは、買い物を生かした介護予防の全国展開を進める「ショッピングリハビリカンパニー」(島根県)と府内で初めてパートナー契約を結び、ノウハウを学んだ。買物は近商ストア内のみ。「ひかりサロン安心プラス向島」075(605)3

380。(中西英明)

同区で福祉用具レンタルやデイサービス施設運営を手掛ける「安心ライフ」の事業。同社によると、買い物で歩いたりお金を数えたことで、体力維持や

認知症予防が期待できるといふ。同施設に事業所を構え、2日からサービスを始めた。

一部地域を除く伏見区住人が利用でき、要支援

1か2の人と、市が必要と認めた人は介護保険が適用される。利用者は自宅と商業施設を車で送迎してもらい、簡単な健康体操を行つた後、スタッフの付き添いで買物をする。特に女性の利用が多いという。

18日には体験を含めた女性ら人がサービスを利用した。スキーのストックのような器具を使った体操や認知機能のトレーニングを行つた後、売り場を歩いて買い物を楽しんだ。体重を預けながら楽に歩ける専用のショッピングカートも利用でき、利用者の林久子さん(85)は「一人での買物だと、さつさと用事だけ済ませようとしてしまうけど、ゆっくりいろいろな物を見られて楽しい」と話した。

伏見・向島 福祉関連会社が車で送迎

京都市伏見区の向島ニュータウンにある商業施設「近商ストア向島店」で、高齢者を車で送迎し、買物を促すことで介護予防につなげる事業「ショッピングリハビリ」が始まっている。コロナ禍の外出自粛で高齢者の身体機能や認知機能の低下が懸念される中、体操も組み合わせて、心と体の健康維持を目指している。